

生産性向上をキーとしたイノベーションの可能性  
平成 29 度 第 1 回 札幌市 IT イノベーション研究会 実施報告 (抄)

開催日：2017 年 6 月 16 日 (金) 13：30～16：00

場 所：札幌市産業振興センター 産業振興棟 2 階 セミナールーム A

主 催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団

共 催：札幌市 IoT イノベーション推進コンソーシアム

後 援：札幌市、特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会、北海道 IT コーディネータ協議会

参加者：61 社 75 名

プログラムと内容概略 (以下、敬称略)

## 1 主催者挨拶



一般財団法人さっぽろ産業振興財団 情報産業振興部長  
和田 康広

## 2 講演「札幌市 IoT イノベーション推進コンソーシアムについて」

～これまでの活動内容と実ビジネス誕生への期待～



札幌市経済観光局 国際経済戦略室 IT・クリエイティブ産業担当課  
IT 産業担当係長 吉田 泰斗 氏

○札幌市 IoT 推進コンソーシアム：産学官連携によるコンソーシアム、昨年 8 月設立。

- ・大学などにおける先進的研究成果の蓄積
- ・全国有数の IT 産業の集積
- 札幌の強みを生かす。現在 70 社超の企業が参加。

○活動内容

- ・ICT 活用普及促進、先導的プロジェクト推進、フィンテックシティ推進、AI 研究の 4 部会にて活動。

○Sapporo AI Lab (AI 研究部会の活動組織)

- ・2017 年 6 月 1 日に発足。
- ・AI 関連技術を活用した新たなビジネス創出
- ・AI 関連企業の集積と起業を促進
- ・AI 関連人材の確保・育成
- AI 社会実装を先導する都市「さっぽろ」を目指す。
- ・約 170 名の参加者、ラボ長:北海道大学 川村教授の講演などを実施。

○AI Lab の構成

- ・ラボ長:北海道大学 川村教授
- ・他産業との連携
- ・産学官の連携
- ・官民データの積極的活用
- 札幌が、AI を使って新しいことを起こそうとしている、というものを打ち出したい。

○当面の基本事業

- ・情報発信・普及活動:AI 活用ビジネス事例の収集、イベント出展、SNS による情報発信
- ・コミュニティ支援:AI 関連のコミュニティの活動サポート(垣根を越えた活動の支援)
- ・AI 人材育成:ITイノベーションを創出できる人材を、実践を通じて育成、大学サテライトゼミ(予定)
- 少人数で、AI 技術を深く学べる、連続講座をイメージしている
- ・プロジェクトメイク:専属コーディネーターを配置。マッチングなどの相談に対応、産学連携による共同研究チャレンジマッチング
- ・リーディングプロジェクト:札幌市コールセンターの膨大なデータを元にデータセットを構築
- AI による自動応答システムの試作開発。えきバス navi の試作開発

○会員募集について

- ・法人、有識者から広く参加を募集している

3 講演「釧路市 IoT 推進ラボの取組について」

～インバウンド観光の利便性を高める IoT 利活用地域を目指して～



釧路市 IoT 推進ラボ 代表/釧路ITクラスター推進協会 会長 中島 秀幸 氏

○なぜ、釧路でインバウンド観光がテーマなのか

- ・釧路市に集中する国の様々な観光施策(4つの「国の施策」を同時展開中)
- ・観光立国ショーケース
- ・水のカムイ観光圏
- ・国立公園満喫プロジェクト
- ・広域周遊ルート(アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道)
- ・欧米圏セレブ市場、アジア市場に対し、国際的な観光地となるポテンシャルを有する。
- 地域の観光資源が潜在能力として評価されている。

○「観光立国ショーケース」選定都市・釧路市の観光立国戦略

- ・日本版 DMO の確立、観光資源の磨き上げ、ストレスフリーの環境整備、海外への情報発信
- ・「Super Fantastic KUSHIRO」を掲げ、IoT 活用による各種取組を実施。

#### ○釧路市 IoT 推進ラボ

- ・参加プレイヤー: 地元IT企業、地元観光関連業界、教育機関、支援機関から形成。
- ・地域ビッグデータをベースに様々な施策を実施

#### ○釧路市 IoT 推進ラボの取組

- ・多言語ガイド: 位置情報と連動し、観光者がいる場所を多言語でガイド
- ・多言語メニュー、注文: ペーパービーコン活用、オーダーシステムと併用し、観光者情報も獲得
- ・多言語商品案内: 商品バーコードから商品情報を多言語で表示。検索状況をデータ活用
- ・WeChatPay、PayBとの連携で、スマートホンでのマルチ決済を実施
- ・Free Wi Fi: ストレスフリーエリアを作り、エリア内ではストレスなく利用できるよう計画  
→インバウンド観光客がストレスフリーで楽しめる地域を実現  
→2020 年までに満足度、リピート率とも 20%→22%へ早期実現を図る。

## 4 講演「北海道へ新たな技術基盤を創造する

“ブロックチェーン北海道イノベーションプログラム “のご紹介”



株式会社 INDETAIL 代表取締役 坪井 大輔 氏

#### ○ニアショアをキーワードにビジネス展開

- 北海道へのこだわり、地元への社会貢献
- ・地元でも働けるベンチャーのビジネスモデルを構築したい
- ブロックチェーンを北海道の産業にしたい
- 「ブロックチェーン北海道イノベーションプログラム (BHIP)」を 2 月に設立

#### ○ブロックチェーンとは

- ・データの置き方のひとつ。どうやってデータを置くか
- ・ブロックチェーン≠ビットコイン
- ・ブロックチェーンの概念上に様々な拡張をもたせることができる  
→その一つが仮想通貨であり、ビットコインはその一例
- ・信用・信頼を担保しているため、様々なものに転用できる「大きなインパクトのある技術」

#### ○ローカル IT 企業の課題と BHIP の目標

- ・情報が届くのが遅い。情報が欲しくてもなかなか身近にない。  
→ならば自らが学び、地域の技術者に広めたい。技術基盤を地域に創造したいという試み。
- ・IT エンジニアの育成
- ・ブロックチェーンを使ったビジネス展開したい企業との協業
- ・ブロックチェーンに知見がある企業は周りの企業をサポート  
→オール北海道で、日本一のブロックチェーンの先進地域を作りたい。

#### ○今後について

- ・専用ポータル「ブロックチェーン・オンライン」の展開
- ・ブロックチェーン関連のセミナー、技術者向け勉強会を実施。

- ・様々な形でのパートナーを募集中。

## 5 講演 「平成 29 年度 研究会の活動について」



札幌学院大学 客員教授 / 日本イノベーション融合学会 北海道支部長  
/ 札幌市ITイノベーション研究会 世話人 赤羽 幸雄

### ○政府の取組から

- ・世界最先端 IT 国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画が閣議決定（5月30日）
  - ・電子行政、健康・医療・介護、観光、農林水産等を重点分野に指定
  - ・公的研究資金による研究成果のオープンデータ化を推進（2020年までに）
- ・政府の新 IT 戦略の骨子（地域での戦略）
  - ・IT を活用した農業の高度化
  - ・医療情報連携ネットワークの構築
- ・「未来投資戦略 2017」を閣議決定（6月9日）
  - ・戦略 5 テーマ（移動革命の実現、サプライチェーンの次世代化、健康寿命の延伸、快適なインフラ・まちづくり、フィンテック）
  - ・IoT、AI 等の先端技術を上記に積極活用し、次世代スマート社会像「ソサエティ5.0」の実現へ

### ○EDI（Electronic Data Interchange：電子データ交換）

- ・中小企業庁：次世代企業間データ連携調査事業 共通 EDI 実証検証
  - ・12 のプロジェクトの中に「北海道の中小企業における次世代共通 EDI 連携」が採択
    - 地域内でのデータ連携に向けた取組
- ・EDI 普及で 6.7%、次年度スタートの金融 EDI 連携での効率化で 8.6%の生産性向上が見込まれる。
- ・銀行法改正 銀行に API 公開の努力義務
  - 従来銀行が行ってきた顧客サービスを外部企業に公開
  - フィンテック企業等、多様なプレーヤーが銀行機能を組み込んだサービス開発可能に。

### ○市内 IT リーディングカンパニー育成事業 交流会(他産業分野とのマッチング)について

- ・テーマ①介護分野とのマッチング
  - ・2018年の介護報酬改定でIT利活用した事業者への介護報酬優遇を実施
    - 民介協北海道支部との共催で、道内の事業者向けにソリューション提案。
- ・テーマ②生産性向上の為のIT利活用
  - ・札幌商工会議所との共催。対象は全業種にわたるため、幅広いソリューション提案となる。

○今年度の研究会は、各種技術の社会実装に向け、今まで以上に実践的な取り組みを実施予定。

## 5 その他

- ・今年度は全3回（第2回：12月、第3回：3月）の研究会を実施予定。
- ・札幌イノベーションセミナーは10月（テーマ：環境）、1月（テーマ：食）開催の予定。



## 【研究会の様様】



多数の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

今年度の研究会活動にも是非ご参加いただきたく、また、札幌イノベーションセミナーにおいては、10月は環境に、2月は食に関係する皆様に幅広いお声掛けをいただきつつ、共にご参加いただきますようお願い申し上げます。

さらに、本研究会のために貴重なお話をいただきました、各講演者の皆様に心より感謝申し上げます。本会では、生産性向上を柱に、地方版IoT推進ラボの2地域（札幌市・釧路市）の活動内容のご紹介と、北海道に拠点を置くIT企業から、北海道を先端技術の集積地にしていこうという意欲的な取り組みをご紹介いたしました。

様々な産業での生産性向上には、IoT、AIなどの技術が必要不可欠となっております。皆様がキープレイヤーとなり地域から新たなイノベーションを生み出されますことを期待しております。

以上